

2021年8月29日  
電機連合長野地方協議会  
議 長 相澤 健弘

## 電機連合長野地方協議会 第69回定期大会挨拶

電機連合長野地協第69回定期大会に県下各地よりご参集いただきました、大会代議員の皆さん大変ご苦労様です。

日頃は、長野地協の活動に加盟組合の執行部の皆さんをはじめ、組合員の皆さんとご家族の皆さんから多大なご支援・ご協力を賜っていることに心から感謝と御礼を申し上げます。

さて本日の定期大会は、コロナ禍の状況を踏まえつつも地協の運動方針を決定する重要で場であり、リアル開催に向けて事前調査もさせて頂きましたが、急激に県内の感染警戒レベルが上がってしまったことから、リモート開催の判断をしました。本日は加盟組合単位でリモート出席を頂いている状況と認識していますが、予期せぬ不具合等が発生する場合もあり何かトラブルが発生した際は、皆さんの臨機応変な対応をお願いし大会議長団のスムーズな進行にご協力を頂ければ幸いです。

本日はこの様な趣旨・背景から、日頃大変お世話になっております、各団体・組織からのご来賓についてはご遠慮いただいておりますが、WEBシステムを最大限に活用し電機連合本部より神保中央執行委員長ならびに来年7月施行予定となっております、第26回参議院議員選挙に2度目の挑戦をされます、矢田わか子参議院議員にご臨席を賜っております。なお、組織内議員の松木長野市議、特別常任幹事の連合長野 根橋会長、長野県労働者福祉協議会 三好専務理事、長野県労働金庫 小池理事長におかれましては、現下の情勢に鑑み出席は見合わせて頂いておりますことにご理解をお願いします。

神保中央執行委員長ならびに矢田わか子参議院議員におかれましては、日頃のご指導とご厚誼に対し組織を代表し心から御礼申し上げ、皆さんの大きな拍手にて御礼と激励に代えさせていただきたいと思っております。

ご来賓の皆様からは後ほどご挨拶を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

コロナ禍の状況となって、本定期大会を含め集合形式での活動がままならない状態が続いて1年半が過ぎました。本来であればこの大会の前段で矢田わか子参議院議員にお越しいただき、長野地協として来年の選挙の必勝を叶いたかったと非常に残念でありませんが、「あなたと動けば未来は変わる」この言葉に秘められた矢田わか子参議院議員の想いを、長野地協がこれから一つ一つの取り組みに真摯に愚直に対応することを共通認識とさせて頂きたいと思っております。是非、皆さんのお力添えを宜しく申し上げます。

本題に入る前に、8月は全国的に台風9号や線状降水帯の影響を受け、各地で甚大な被害が発生し長野県内においても、尊い命が奪われる痛ましい災害が起っています。今回被害に見舞われた皆様に対してお悔やみとお見舞いを申し上げます。

自然災害は人間の力をもってしても食い止めることが難しい訳ですが、災害が起こった後の生活再建に対しては、労働組合が日常における「保障活動の強化・充実」を図ることで成し得る部分も多く、組合員とご家族の将来のための取り組みを、こくみん共済 coop 長野推進本部ならびに長野県労働金庫との連携を図りながら引き続きの活動を宜しく申し上げます。

本定期大会は、去る7月5日に開催されました電機連合本部第69回定期大会で確認されました運動方針の補強に沿い、長野地方協議会として向こう一年間の運動方針について代議員の皆さんに議論をしていただくとともに、すぐる一年間の諸活動について報告し確認をいただくこととなります。

詳細については、後ほど行います報告と議案提起に委ねたいと考えますので、私からは大会に先立ち3つの視点からお話しをさせていただき、ご挨拶に代えさせていただきたいと思っております。

まず一つ目は、「**私たちを取り巻く情勢**」についてであります。

内閣府がまとめた6月の景気動向指数（C1、2015年＝100）の速報は、景気の現状を示す一致指数が前月差1.9ポイント増の94.0と2カ月ぶりに上昇となりました。自動車などの生産が回復し輸出も伸びてプラスに寄与したとされています。景気の判断基調は「改善を示している」として前月からの基調を維持しています。総務省がまとめた6月の家計調査によると、1世帯（2人以上）当たりの消費支出は26万285円となり、物価変動の影響を除いた実質で前年同月比5.1%減少しています。1人10万円の特別定額給付金で実収入が膨らみ家財などの購入が増えた前年の反動で、4カ月ぶりにマイナスに転じています。落ち込みが目立ったのは前年同月比で21.7%減の家具・家事用品、エアコンや洗濯機などの家庭用耐久消費財の減少が響いたものとされています。新型コロナウイルス流行前の2019年6月と比較するとマスクなどの保健用消耗品は62.8%増、冷凍調理食品28.1%増となっていますが、食事代は33.8%減、鉄道運賃は58.4%減、宿泊料は60.6%減といった外出を伴う支出は依然として厳しい状況が続いています。一方、厚生労働省がまとめた6月の毎月勤労統計調査によると、名目賃金から物価変動の影響を除いた実質賃金は前年同月比0.4%減となり、マイナスに転じるのは2021年1月以来5カ月ぶりとなっています。これは一般労働者の実質賃金の減少が響いたとされ、コロナ禍前の2019年6月比で2.4%減となりコロナの影響が大きいことがみ取れます。

この様な状況のなかで、国内企業の2022年3月期の業績予想が各調査会社等から発表されていますが、東証一部上場企業882社（開示率60.2%）のうち、当期利益予想を上方修正した企業は113社にのぼっています。この要因は新型コロナウイルスのワクチン接種が進捗しグローバルで景況感の回復の追い風を受けたとされていますが、変異株（デルタ株、ラムダ株）などコロナ禍が再拡大するなかで、先行きには不透明感も漂っていますし、原材料の高騰が今年度後半から影響してくるとも想定されており、取り巻く経済環境は一進一退の状況は続くと考えなければならないと認識しています。

二つ目に「**政治の関係**」についてであります。

今年4月25日に執行された長野県区参議院議員補欠選挙からお話ししていきたいと思っております。本件については、去る8月18日に行われた連合長野執行委員会において、参議院議員補欠選挙に関する総括について報告・確認されていますが、今回の補欠選挙においては、①投票率の低下の課題、②連合政治方針および電機連合政治方針に謳われている「政党と労組の相互不介入」の原則に則り、今回噴出した政党間での問題については一切の関与はしないものの、③連合長野として、候補者・立憲民主党県連と「共有する理念」をめぐる問題が浮き彫りとなったことは、今後の国政選挙に禍根を残すこととなったと受け止めています。加盟組合の皆さんに対しては非常に分かりにくい対応方針を示すこととなったことは、改めてお詫びを申し上げる一方で、これから施行予定となっている第49回衆議院議員選挙ならびに第26回参議院議員選挙では、選挙区毎の課題や政党の課題等、労働組合を取り巻く環境変化もあり、「竹を割ったような判断」を下すことが相当難しいことはお伝えしておかなければなりません。どちらの選挙も連合長野としての判断が前提に立ちますが、構成産別の一つとしてこれから迎える選挙戦に向けて、最善の対応が何なのか電機本部との連携を図りながら答えを導き出していくこととなりますので、加盟組合の皆さんの格段のご理解とご支援・ご協力を切にお願いいたします。

もう一点、国政選挙に限らず各級選挙においての最大の課題は、投票率の低下にあります。誤解を恐れずに言

えば「投票にいかないことは、天に唾を吐く」ことと同じだと受け止めています。国民に与えられている権利として私たちの信頼する議員に私たちの将来を託すことができる入り口は、投票行為です。これをなくして「こんな筈ではなかった」と言っても、それは単なる愚痴に過ぎません。電機連合は、組織内議員である浅野さとし衆議院議員と矢田わか子参議院議員がいます。私たち労働者が何を求めているのか、何を変えて欲しいのか、最前線で理解されている働く者を代表する議員です。このお二方に私たちの将来を託す意味と電機産業の更なる発展のために、どうか再び国政の場に送り出していくために、投票率向上の取り組みに傾注いただきたいと思います。

この想いを職場で伝えていただくのは、加盟組合の執行部の皆さんです。「あなたと動けば未来は変わる」これを是非実践していただきたいと思います。宜しくお願いします。

三点目は、8月8日に閉幕した「東京五輪」から感じたことに触れたいと思います。五輪の今後のあるべき姿を考える上でターニングポイントとなる大会であったと思います。コロナ禍での開催は未だ賛否両論があるなかで、今回の五輪は日本選手団のなかでも若い力の台頭が光ったと受け止めています。国代表としての重圧をもつともせず力を発揮するアスリートの姿は、若年世代の共感を呼んだと考えますが選手が発した「努力は報われる」という言葉に考えさせられるものがあつたのは、私だけではないと思います。

少子高齢化社会の進展、コロナ禍での問題、社会保障の課題等、全世代の国民がこの難しい時代に悲観するのではなく、明るい未来をどの様に描いて生活をしていくのか、改めて自分自身の足元を見つめなおすには大変感慨深い東京五輪になつたのではないかと受け止めています。

結びとなりますが、私の労働界の大先輩から託された言葉に、「温度・感度・節度」は人間関係を構築する上で大切なことであるという教えが、コロナ禍になって思い起されました。人と接触が出来ない難しさのなかでWEBシステムであったり、SNSであったり新しいコミュニケーションツールが進展した一方で、相手の顔色や声色、相手との距離感を感じて人間関係を構築する大切さも感じている今日この頃です。労働組合の原点でもある「対話と参画」はいつの時代においても忘れてはならないことであり、これからも加盟組合の皆さんとともに労働運動に邁進していきたいと思つています。引き続きのご支援ご協力を宜しくお願いします。

本定期大会は限られた時間ではありますが、大会代議員の皆さんの闊達且つ建設的なご意見をお願い申し上げます。本日は宜しくお願いします。

以 上